

ANJO BALLET

安城バレエ

衣裳取り扱いハンドブック 完全版

- 衣裳の取り扱い p 2
- 衣裳の分類（資料） p 3～4
- 衣裳事前研修 p 5～7
- 衣裳を受け取ったら p 8
- 衣裳のサイズ調整 p 9～10
- 衣裳の疑問 Q&A p 11
- 百石倉庫利用の仕方 p 12～14

1) 衣裳の扱い 汚れないよう注意

- ・持ち運びの際は、大袋で保護
- ・衣裳袋は失くさない(シールにはサイズや個別番号、保管場所、履歴情報等が記入されています)

2) 衣裳をつけている時の注意

×飲食NG、トイレの際は衣裳を脱ぐ、走らない、地べたに座らない

※本番、パフォーマー側の状態(身支度やコンディション)が整っていない状態では、出演を差し止める場合があります。直前の準備不足や事故(鼻血や転倒による出血・汚れ、衣裳の破損等)は見る側を不安にさせる等理由で催事側の責任において舞台上げることができません。トラブル回避のため、落ち着いた行動を宜しくお願い申し上げます。

3) リハーサルの時のお願い

衣裳リハ、本番のリハーサルの際、付き添いの方は客席で指示を確認してください。

演出席の藤野より衣裳や小物等に関する指示が出ます(マイクを通してどンドン言いますので聞き流らしの内容に)。不明な点等は、後日確認をしてください。

4) 衣裳 着用後のお手入れ

★レオタードタイプ(水洗いOKの衣裳)

おしゃれ着洗剤などでやさしく押し洗い、十分にすすぎ、タオルではさんで押し脱水(雑巾絞りはしない)、形を整え陰干し

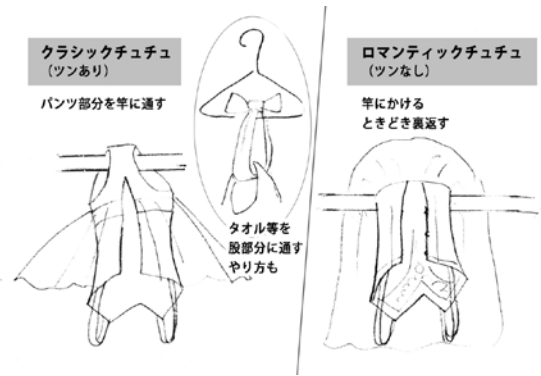
★本式衣裳(水洗いNGの衣裳)

- 1) 固く絞った布で裏から丁寧に汗をたたき出す→形を整え逆さに干す
- 2) 使用後に衣裳用スチーム機(スタジオ)を用いて、汗や汚れ成分を飛ばす。(生地に蒸気を当て水分と一緒に汚れや臭い成分を蒸発させる)→形を整え陰干し

★衣裳の陰干し

風通しの良い場所で陰干しをします。

衣裳がカラカラになるまでしっかり行ってください。生地湿気とともに汗の臭いを飛ばすことで、衣裳を保管している最中の変性(目に見えない汗や皮脂の成分の



変色、衣裳に用いられているデコレ等の色移り等)を防ぎます。

5) 返却の際の状況(付属品やパーツ)

- ・返却の際、付属品や装飾パーツをつけたままにするか、取り外すかは、その都度、条件がありますので「つけたまま返却するのか、外すのか」「各衣裳の袋にまとめて返すのか、衣裳とパーツを別々に回収するのか」など迷ったときは、藤野までご確認ください。

トラブルの過去の事例

- ① 走って転び、タイツが破れ、血がついてしまい…→履き替えが間に合い無事出演できましたが、万が一間に合わない場合は出演差し止めになります。予備のタイツの準備も大切ですが、普段から、走らないようご指導ください。
- ② 使う前に縫い付けた肩ゴムやホックを使用後に外し、処分してしまった
→(次回使う人がまたつけなければいけないので、付けたままにしておいてください。
- ③ 衣裳袋が破れていたのを新しい袋に変え、元の衣裳袋を処分してしまった → 何らかの理由で新しい袋に変える時も返却時に必ず元の袋もご返却ください
- ④ 本式衣裳を水洗いしてしまった→(残念ながら元に戻らず廃棄・弁償パターン)
- ⑤ レオタードチュチュを普通の洗濯・脱水して失敗、チュールがチリチリに…→(廃棄・弁償)
- ⑥ 汗をかいて濡れた状態で放置していたため、衣裳にデコレから溶けて色が移ってしまった(衣裳専門のクリーニング)…等。

※**衣裳専門クリーニング**で数万円代の請求をされたケースもあります。また通常一般クリーニングは溶剤で衣裳が復元不能になる場合がある為、個人でクリーニングに出す前に必ずご相談ください。

1) つくりの違いでの分類

本式衣裳		アンダー着用
【着脱】背中側にホック	×洗濯不可(ひどく汚れた場合クリーニング)	◎推奨 ※RCショーツ要
【サイズ調整】ムシを作る、肩ゴム	脱いたら直後に裏返し、乾かす	
【ボディの生地】非伸縮	裏から濡れタオル押し拭き後十分に乾燥	
チュチュ(CC)	ロマンチックチュチュ(RC)	
ツン(パンツ部分)あり	ツンなし(ステージショーツ個人で用意)	
レオタードチュチュ		アンダー着用
【着脱】ホック類なし	○デリケート水洗い可	できれば
【ボディの生地】伸縮生地	※チュール部分がヨレやすい(脱水機注意)	

2) 用途別分類

クラス作品用の衣裳		
・同じ衣裳が沢山ある(サイズ、色等)	【ボディ】【デコレ】【袖】【頭飾り】を確認	※回収時数量確認 ※回収時数量確認
・ボディに加える デコレ、袖等 を確認 → まとめて別に回収しているものもある		
・ 頭飾り → まとめて別に回収しているものもある		
バリエーション用の衣裳		
・基本的には1枚単位	【ボディ】【袖】【頭飾り】を確認	※ティアラの手入れ
・袖、頭飾り等がセットされているものもあり。 ※ティアラ類は当日、ティアラ置き場で着脱		

3) パーツごとの分類

ボディ 衣裳の本体	デコレ 衣裳の飾り、着脱式のものにはセットにして配布 & 回収、最初の数とあっているか回収後必ず確認。	★元の袋は大切に ★(サイズ記号等や衣裳番号、使用履歴等が記載)。劣化した場合は報告確認後の取り替えを。(衣裳サイズ、シール情報等紛失しない)
ヘッド(一般) 【個人管理】 衣裳とセットのもの、壊れにくい素材のもの、クラス作品のヘッド	ヘッド(特殊) 【衣装部管理】 ティアラ類、1点もの、壊れやすい素材のヘッド等は当日ティアラ置き場で着脱。 ※白鳥ヘッド用白ピンなど事前に確認。	
袖 ボディに付いているものと、離れているものがあり。	小物 演目ごとに指示あり。	
パーツ 「付けて」と飛んでくる物体。臨機応変即時対応能力を問われる? 回収時の状態は必ず事前確認(付けたまま返却するか、はずして返却するか)基本、ホック、肩紐類はそのままで返却。	当日 【クラスごとに係さんが当日つけてくれるもの】 ・口紅 ・耳のスパンコール	

資料 衣裳の分類

② 衣装箱の分類

カテゴリ	内容	表示
クラス作品用	同じ色・形で枚数、サイズ展開豊富な衣装	クー
ヴァリエーション向け	演目にあったデコレーション付で、1～数点程度の衣装	V a -
混在	クラス作品衣装・V a 向け衣装混在の箱	混ー
藤野作	藤野作点数の少ない衣装	藤ー
特殊衣装・キャラもの	コッペリウス老人等の特殊なもの	バラエティー

③ 小物類の分類

ヘッド 袖 デコレセット 上衣・・・など等、身につける部位ごとに番号がふってある
小物に関しては通常まとめて管理（個々の番号がない）

小物類はまとめてクラス代表者さんが管理

- ・小物は、通常、一袋に何個も入っています。一部使用する場合も、袋ごと出庫し、残りは衣裳担代表者さんが入庫まで保管・管理してください。（数個だけ出し入れすると、紛失や戻し間違いが生じるケースがあり、次に使う時に数が合わず困るため）
- ・出した時、戻すときに、総数をご確認ください。（紛失のチェック）

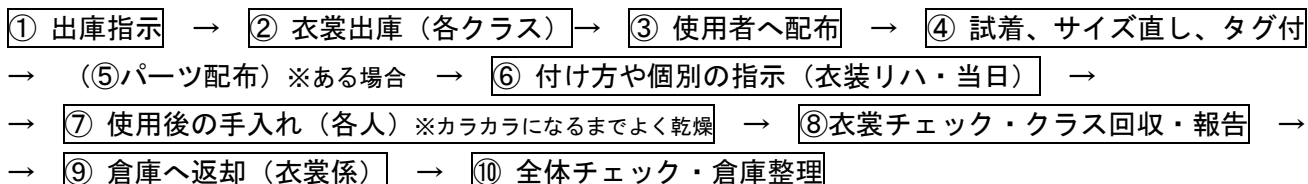
③ 衣装名略語について

略語	正式名	意味
CC	チュチュ	ツン（股）ありの短い丈のスカート
RC	ロマンティックチュチュ	ツン（股）なしで、長い丈のスカート
l t d C C	レオタードチュチュ	胴部分や、股がレオタード生地のチュチュ
d c r	デコレ	飾りつけのこと
L B C C	リトルバレリーナ製チュチュ	リトルバレリーナ製のボディ。（園児～低学年向け） サイズ表記がピンク・黒・白・青と、色表示なので注意

1) 衣裳の取り扱い（事前研修資料）

★衣裳倉庫は旧末広倉庫から百石倉庫へ引っ越しました。（2020年5月）

■出庫から入庫までの流れ（例年）



1) 出庫依頼

スタジオから出庫依頼がありましたら、クラスまたは個人（ご相談の上、皆様のご都合にあわせていただいております）で、衣裳の出庫以降、お戻しまでの管理をお願い申し上げます。

2) 出庫

① 倉庫の利用の仕方

- ・ 鍵の場所 スタジオのキーボックスの中に数本 ノートに名前、貸出日を記載する
- ・ 駐車について 1台、敷地内（倉庫前）に停められます。
- ・ 水道やトイレは使えません。 倉庫の利用に関しては、後に添付した資料を確認してください。

① 衣装袋の衣装名シールについて

- ・ 各衣裳には 6-① 5-② など個体番号が割り振られています（サイズと番号）
- ・ 前回使用者の名前シールが添付されていますのでそれらも参考にして出庫

③ 出庫メモについて

- ・ 出庫の際は、箱に例のような出庫記録を残す
倉庫にメモ用紙や、筆記具あり
- ・ V a 衣装など1点しかない衣装はサイズ記入不要
- ・ 発表会后、入庫の際は出庫メモに「入」と追記し、メモは貼り付けたままにしておく
※全体の衣裳倉庫整理の際に、完全に入庫されているか確認作業をした後、メモはずします

〈例〉

9 / 7 中 石川	← 出庫日	← クラス	← 出庫者名
L B C C 赤 C C	← 衣装名		
黒 × 5 青 × 5	← サイズ × 枚数		

④ 持ち運びについて

- ・ 持ち帰り用の大袋があると便利 倉庫の袋も利用可（最後は返却）
- ・ 汚れないように、必ず袋にいれた状態で持ち運びしてください。
- ・ 新規衣装を入れる袋はスタジオで用意しています。困った時はご相談ください。

3) 配布

- ① 使用者名前シールを付けて各人に配布してください。
- ② 衣裳に名前タグをつけてください。(シーティング布に**鉛筆**で情報を記入し縫い付ける)
- ③ 新着衣裳の場合は、スタジオから指示が出ます

4) リハーサル時

- ① 衣裳リハ、本番のリハーサルの際、付き添いの方は客席で指示を確認してください。 演出席の藤野より衣裳や小物等に関する指示が出ます。もしわからないことがあった場合の質問等は後で確認をしてください。瞬間的にどんどん指示が出ますので、聞き洩らさないようにご協力宜しくお願い申し上げます。
- ② 衣裳をつけている時の注意、**×飲食NG**、**トイレの際は衣裳を脱いで**、**走らない**
お子さんが安心して本番に臨めるよう、大人も余裕をもって落ち着いた行動を優先してください。

※パフォーマー側の状態(身支度やコンディション)が整っていない状態では、出演を差し止める場合があります。 催事側の責任に於いて観客や周囲を混乱・動揺させないため判断を下さざるを得ないケースが起きますと大変残念ですので、ご協力を宜しくお願い申し上げます

5) 使用後のお手入れ

★**レオタードタイプ(水洗いOKの衣裳)**

おしゃれ着洗剤などでやさしく押し洗い、十分にすすぎ、タオルではさんで押して脱水
(雑巾絞りはしない)、形を整え陰干し

★**本式衣裳(水洗いNGの衣裳)**

- 1) 固く絞った布で裏から丁寧に汗をたたき出す 形を整え逆さに干す
- 2) 使用後に衣裳用スチーム機(スタジオ)を用いて、汗や汚れ成分を飛ばす。(生地に蒸気を当て水分と一緒に汚れや臭い成分を蒸発させる) →形を整え陰干し

★**衣裳の陰干し**

風通しの良い場所で陰干しをします。衣裳がカラカラになるまでしっかり行ってください。
生地湿気とともに汗の臭いを飛ばすことで、衣裳を保管している最中の変性(目に見えない汗や皮脂の成分の変色、衣裳に用いられているデコレ等の色移り等)を防ぎます。

★トラブルの事例（例）

- ・ 本式衣装を水洗いしてしまった
- ・ レオタードチュチュを脱水しすぎて、チュールがチリチリになってしまった、
- ・ 汗をかいて濡れた状態で放置していたため、衣裳にデコレから溶けて色が移ってしまった…等

③ 返却のしかたの確認

- ・ 付属品や装飾パーツは条件によって回収が異なります。「つけたまま返却するのか、外すのか」「各衣裳の袋にまとめて返すのか、衣裳とパーツを別々に回収するのか」など迷ったときは、藤野までご確認ください。

トラブルの過去の事例

① 使う前に縫い付けた肩ゴムを使用後に外し、処分してしまった

→（次回使う人がまたつけなければいけなくなる）

新調された衣裳でホックが付いておらず、使う前にホックを縫い付けたが、返すとき「元通りに戻さなければ」と思い、外してしまった

→（衣裳としての基本的な機能に係わるホック、肩ひも等はつけた場合はそのまま残してください）

② 衣裳や、後から配布された小物のビニール袋が破れていたのを新しい袋に変え、元の袋を処分してしまった →（履歴情報を残すため、新しい袋に変える時は、確認の連絡をお願いします）

6) 回収

- ・ 2人以上でダブルチェック
- ・ 汚れ・ホツレなど、直せないものに関しては、衣装番号シールの余白に記載し、藤野に報告
→衣装台帳の履歴備考欄にも記載（次回出庫の際の参考になる）

7) 入庫（倉庫に戻す）

- ・ 元あった場所に戻す（出庫時に着けたラベルを参考に）。
- ・ ラベルに「入」と戻した日付を記入し、斜線をつけて入庫完了とする。
- ・ 新規衣装、新規小物については、倉庫の空ダンボールや、紙袋等に何が入っているか記したメモをつけ、真ん中のスペースへ仮置き。→後日、倉庫整理にて正式な置き場所を確保→衣装台帳に収納場所を記入
- ・ 入庫が完了したら、藤野へ報告

8) 全体の倉庫整理

- ・ 出庫メモ添付の箱について、元の数とあっているか確認したら、メモを破棄
- ・ 新規衣装・小物の置き場所確保 衣装箱表示を貼りつける

— 衣装を受けとったら… —

1 サイズの確認と調節

- 1-1 衣装が配布されたら最初に試着をして、サイズを確認してください。(入らない場合は衣装交換)
- 1-2 サイズ調整が必要な場合は各人でサイズ調整を行ってください。

本式衣装の場合 サイズ(幅)→ホックとムシで調整(別紙参照)、その他のケースは個別ご相談
レオタードチュチュの場合 個別ご相談

★ポイント★ 肩紐・ホックは全てつけたままで返却

2 衣装の袋に名前シールを張る

- ・配布時にスタジオで用意したシールを貼ってください。
- ・衣装の変更や追加出庫でシールが無い場合は、白いシール等に手書きでご対応ください。

3 衣装に名前タグをつける

- ・シーチング(ハギレ)に、名前を書いて衣装内側に縫いつける
- ・筆記具は「**鉛筆(2B位濃い目)**」で。 ×油性ペン(収納時に色うつりするため厳禁) (例)

(記入内容) 開催年 クラス 名前(名前がかぶる方は名字も)、身長・体重

- ・前回使用者のタグは邪魔なときは取り外してもよい

2019 ①お
火プ なおこ
115cm、21Kg

4 パーツなどの配布物

- ・デコレ(飾り)の後付けパーツ等が配布される場合あり
- ・配布時に名前を付けてお渡ししたビニール袋は、後で回収・保管に使用することがあります。
(お手数ですが捨てずに取っておいてください)

—<注意事項>—

【衣装を着けている時の注意】

飲食不可

立ち居・振る舞いに気を付けて 走らない 暴れない 汚さない

着替えや待機などで地べたに直接座らないといけないとき…会場などの床は汚れていることが多いため、あらかじめレジャーシート等をご用意ください。

【衣装の損傷、汚れ、トラブル発生時は…】

- ① 初動 声をあげ、周囲の人に助けを求める。
- ② 相談・緊急措置 慣れている人、衣装係や先輩保護者に相談を。(自己判断で慌てない)
- ③ 報告 藤野までお知らせください。

5 使用後の衣装のお手入れ

- ・前ページの「衣装のお手入れについて」を参考に
- ・回収についての疑問点、舞台前後にパーツなどの返却の仕方に迷った場合は、自己判断ではずしたり捨てたりせず、スタジオにご確認ください。

6 衣装返却の改修日を、クラスで決めて連絡をとりあう

二人以上で衣装返却に立ちあい、汚れや破損がないかチェックしてもらったら回収サイン

衣裳のサイズ調整

・ホック（背中の留め具）その他必要なパーツ類はスタジオで配布します。

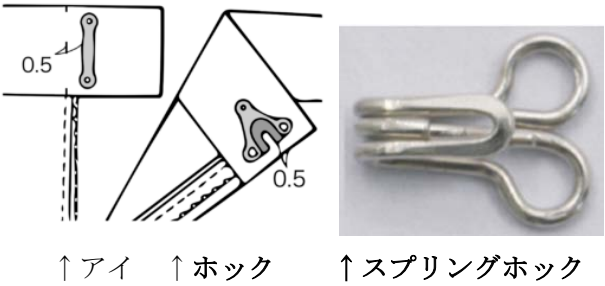
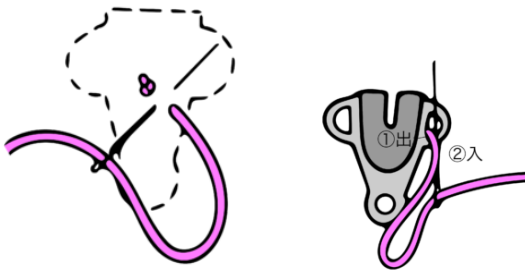
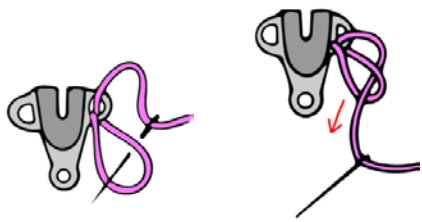
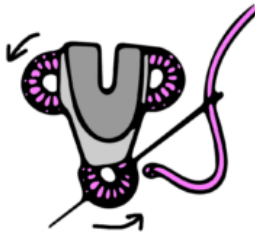
1 本式衣裳の場合 サイズ（幅）→ホックとムシで調整、その他のケースは個別ご相談

2 レオタードチュチュの場合 個別ご相談

衣裳は、目立たないよう小さめのパーツを使います。（前かん、ホック、など）

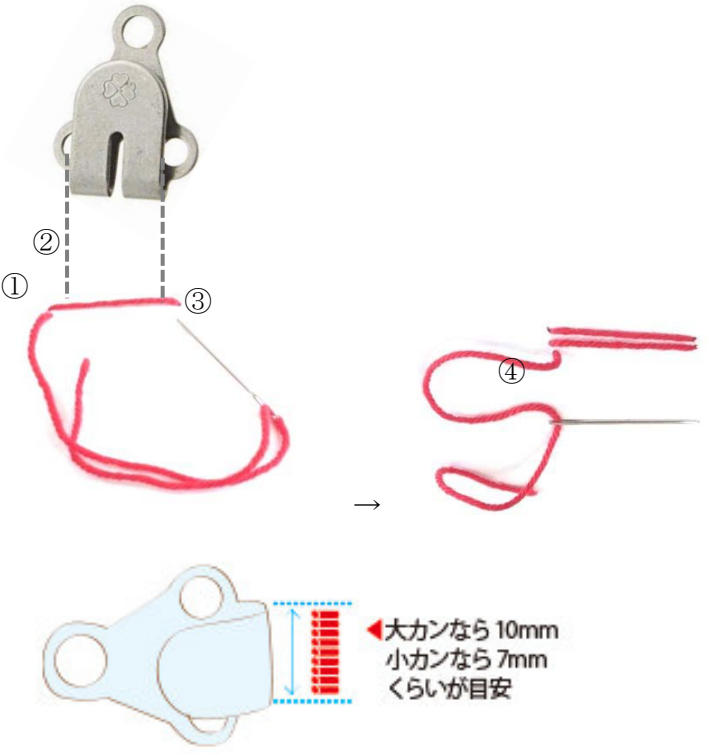
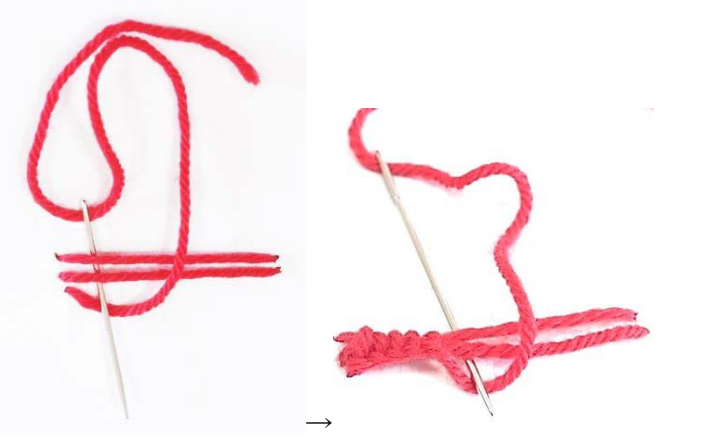
※この資料は、説明が分かりやすいように大きめのパーツで説明しています

かぎホック（前カン）の付け方 <https://maisondeas.com/hook-and-eye-closure/> より

<p>1</p>	 <p>↑アイ ↑ホック ↑スプリングホック</p>	<p>かぎホック（前カン）のつけ位置に印をつけます。衣裳では目立ちにくいスプリングホックを使うことが多いです。</p> <p>※(名称)図の右側をホック、左側をアイと言います。衣裳の場合、アイは目立つのでムシを作ります。</p>
<p>2</p>		<p>結び玉を作ってホックつけ位置の中心に針を入れ、一針返し縫いをします。</p> <p>穴の内側に針を出し、外側に針を入れます。</p>
<p>3</p>		<p>輪の中に針を入れます。</p> <p>針を引きます。（この縫い方をボタンホールステッチと言います）</p>
<p>4</p>		<p>矢印の通りに進み、最後に結び玉を作って布の下を潜らせて糸を切ります。</p> <p>受け手側のムシの作り方は次ページ（バレエ衣裳では金属製のアイは使用せず、糸ループ（ムシ）を作ります）</p>

ムシ（糸ループ）の付け方

<http://deuxpoints.hateblo.jp/entry/2016/03/14/212816> より

<p>1</p>		<p>・試着してムシ(糸ループ)を縫い付ける位置を決めたら、土台の糸を渡します。</p> <p>① 球結びを作り針を布の裏から出す</p> <p>② 針を入れる長さはホックの幅を参考に</p> <p>③ 裏から針を②の近くに少しずらして刺し、2~3回土台となる糸を渡す。</p> <p>④ 端っこに針を出します。</p>
<p>2</p>		<p>針の先端を渡した糸の下にくぐらせて、針先に根元の糸を掛けます。</p> <p>数回繰り返し、ハシゴのように編んで行く。</p> <p>端まできたら、針を布の裏がわに差し、玉止めをして糸を切って完成。</p>
<p>※</p>	<p>使う糸は太めのもの、または2本どりにすると丈夫に仕上がります。</p> <p>★注意★ 前回使用者が付けた糸ループ等はずらさずに残しておいてください。</p>	

- ・**資材**はスタジオでお渡しします 新着衣裳で、前かん、肩ゴム等肩紐や前かんがついていないものもあります。
- ・**肩ゴムの長さ調節**する時、ゴムを結んで調節すると伸びてしまったりほどけなくなったりして次の方が使うとき困るので、ゴムを折り畳み衣裳の裏側に隠れる位置で糸止して調整してください。
- ・**肩紐の取り換え、取り付け**→肩ゴム（肌色のライクラゴム）を縫い付ける

《 衣装について 》

Q. ボディーファンデーションは必要？

A. 直接衣装を着るとチクチクするものもあります。汗取りにもなるので着用しましょう。レンタル衣装の時はマナーとして必ず着用しましょう。

Q. ロマンティックチュチュ（パンツ無し）の時は何色のどんなショーツを身につけたら良い？

A. ピンクかベージュのオーバーパンツをはきます。白は照明が当たった時透けるため、衣裳スカートが透けない生地の時用います。

《 シューズについて 》

Q. シューズのケア方法と臭いの落とし方は？

A. シューズには皮や釘などの素材が使われているので、基本的には洗いません。風通しの良いところで陰干しします。シューズ袋を通気性の良いものにしたり、消臭剤を入れたりすると良いです。

Q. サテンシューズのリボンがほつれた時は？

A. ほつれるたびにリボンを切っていると短くなってしまいます。買ったから早い段階でリボンの切り口をライター等で軽くあぶって止めておきましょう。

《 衣装を汚してしまったら 》

Q. 衣装を汚してしまった時の対処法は？

A. 応急処置
①汚れの下にきれいな布を置く。
②水またはぬるま湯で優しく汚れをたたき出す。
③洗える場合は食器用洗剤で汚れた部分を優しく洗ってよくすすぐ。

×ウェットティッシュやメイク落としシートで拭かない。(あとでシミになる)

血液の汚れは時間が経つと落ちにくくなるので、早めに処置をしてください。

※どうしたら良いか迷った時は自己判断せずスタジオか衣裳係に相談してください。

Q. 衣装の手入れでやってはいけないことは？

A. 洗濯機で洗ったり脱水すると衣裳を損なう場合がありますので絶対おやめください。お配りしてある『衣装のお手入れについて』をよく読み、着用したその日のうちに①スチーム、または②優しく押し洗い、③裏から濡れタオルで御押し拭き+タオルドライを行い、陰干しをしてください。

Q. クリーニングに出す必要は？

A. クリーニングに出すかどうかは自己判断せず、先生の指示に従ってください。(業者ごと異なるため場合により衣裳を損ねることがあります)

Q. 衣装についた臭い取りにファブリーズ等を使用しても良いか？

A. 以前はOKとしていましたが、長年使用していると変色の原因になるという報告がでてきているため、使わないでください。臭いが気になる場合はスタジオのスチームをご利用ください。

Q. チュチュのレース部分のシワの取り方は？

A. 低温のアイロンで必ず当て布をして伸ばします。アイロンの機種により表示や実際の温度が異なるため、端で試して温度調整を行ってください。

《 その他 》

Q. 生理の時に気をつけることは？

A. ご本人が動揺している場合は配慮しますので主催側に一言お伝えください。使用するのは普通のナプキンで大丈夫です。

Q. 胸が大きくなってきたらどのような下着をつけると良いのか？

A. ボディーファンデーションにパッドが入られるポケット付きのがありますし、バレエ用のブラジャーもあります。

Q. 衣装保管で注意することは？

A. タバコやペットの臭いなどが衣装に移らないように注意し、袋をかけて保管して下さい。
※衣装タグがとても大事なため袋は無くさないでください。

〔衣裳〕 百石倉庫 利用の仕方

住所： 〒446-0044 安城市百石町1丁目17番地10 若松荘B号
木造瓦葺2階建ての1階部分 全4戸の内2件分



スタジオからの道順

- ① 南中の正門の面した道を西北にあがり
- ② 交差点（門前堂とキクチメガネ）の交差点を直進
- ③ ヤマザキ「麒麟屋」の道筋少し手前斜め向かい
- ④ 若松荘（昭和長屋）の中央の部屋。

交通安全



入口の目印・看板



車1台停められます（コンクリ部分に）

4) 退室時の注意

第4室の照明を切ったことを確認してください。

5) カギの閉め方

カギのとじ込み注意

※ロックしてから気が付くと悲惨

「鍵」を確実に持ってから扉を閉めましょう。

・扉内側のドアノブ中央にあるボッチ（ユニバーサルボタン）を押し込み、ドアを閉めると自動的にロックがかかります。



作業、お疲れ様でした！

交通安全でお気を付けてお帰りください。

ありがとうございます。

スタジオの電話 (0566) 77-0607
藤野 携帯電話 (070) 5404-5160



1) かぎあけ

- ・円筒鍵（シリンドリカルロック）にキーを差し込み、回す
※古い建物のため、雨の日などドアの木材が膨張して開けにくい時があります（笑）。

目印看板の右側の、赤茶色の木製ドア



2) 照明

- ・外・（夜間）戸外にセンサー付きライトがあり、人が近づくと扉のあたりに照明がつけます。

第1～3室

自動点灯（人感センサー付きライト）

…4部屋中、3部屋は天井に設置している人感センサー付きのシーリングライトが点灯します。無人になり時間が経つと、自動的に消灯します。



イメージ

第4室（衣裳とティアラ類の部屋）

和照明（吊り下げペンダントライト）

タイプ

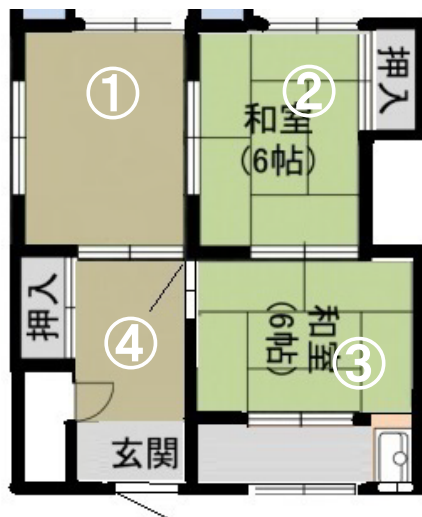
ON：紐を引っ張る

OFF：紐を数回引っ張る。小さい灯も消えたことを確認してください。



イメージ

3) 室内の配置（概要）



<p>② 第2室（板間） 生地・パーツ、小道具、未整理物等</p>	<p>④ 第4室（和室） 衣裳、ティアラ類 ★退出時は電気切る</p>
<p>光があたると衣裳が劣化するため、②④奥の窓はふすま等で遮光しています。</p>	
<p>① 第1室（板間） 玄関の土間は雨が降ると湿る。玄関扉の横の棚に工具類、左手押入れに行事関連グッズ（クリスマス等）と小道具の一部</p>	<p>③ 第3室（和室） ・衣裳、大道具、他 ・持ち出し用の袋類</p>